







私たちは災害時帰宅困難者体験訓練を応援しています

【当訓練は企業からの協賛金によって実施しています、ありがとうございました（2022年度協賛企業、順不同）】

パナソニックホームズ、北大阪急行電鉄、豊能地区郵便局長会、三島地区郵便局長会、マクドナルド、大正製薬、ダスキン、せんちゅうパル、追手門学院幼稚園、エスコック、大阪モノレール、千西会、千里しゃぶ亭、直原ウィメンズクリニック、愛和会、泉州電業、極東食品、大阪府北部コミュニティカレッジ、セントラルオフィス、新日通、三幸住研肉のコバヤシ、スターバックス、タリーズコーヒー、BODYMAKER、MONTHLY BANK、アクセルかいごタクシー、大和合宇宙心理学、北おおさか信用金庫、東京海上日動火災、きんき保険ステーション、中西製作所、リピエーノ、BGみなみ、太鼓亭、熊野田幼稚園

【協力・協賛いただける企業・団体募集中】

当日配布のパンフレットに貴社名を掲載させていただきます、お問い合わせください。

		
<p>受付ポイント： 柴原阪大前駅改札口</p>	<p>受付ポイント：パナソニックホームズ 本社ビル「つながりのひろば」</p>	<p>受付ポイント： 桃山台駅西側バスターミナル前</p>
		
<p>団体行動訓練集合場所：18時出発 ニッセイ新大阪ビル市営駐車場上部広場</p>	<p>受付ポイント： 江坂駅北出口西側広場</p>	<p>受付ポイント：緑地公園駅東側</p>

東日本大震災からまもなく、この訓練がはじまった当時は「帰宅抑制」という考えはありませんでした。もし本当に被災したら、公共交通機関が復旧するまで安全なところで待機してください。帰宅抑制は必要ですが、現実的ではありません。従業員のために備蓄したり、宿泊スペースを確保したりできる会社は少なく、家族があれば帰宅したくなるのが人間心理ですし、子どもがいれば、帰らないわけにいきません。歩いたことがない道を歩いてみることで、ある女性は会社にスニーカーを置くようになったそうです。歩いて帰れないことを理解して、家族で有事の際の取り決めをしたという声も聞いています。

この訓練は、あくまで体験型の啓発であり、訓練をきっかけとして、災害時を想定して様々なことに気付くことが目的であり、歩いて帰るための訓練ではありません。